

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童デイサービス エデュカーレ		令和 7 年 5 月 30 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	不要な物や道具は倉庫に片づけるようにしている。	スペースを確保できるよう環境整備を継続する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	職員不足の時は他部署から応援を依頼している。	看護師・保育士の増員
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		定期的に適正か点検していく（非常口が狭い）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃・消毒を徹底している。	活動に合わせて家具・道具を移動する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		短期入所スペースやしきりの使用ができる。	緊急時の対応を検討する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			定期的なミーティングでPDCAサイクルを行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			評価結果を職員で共有し改善案を出し合う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		ミーティングで意見を聞くだけでなく個別で意見を聞く。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		必要に応じて対応する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内の研修は受講している。法人外の研修は内容を見て参加している。	情報収集を行い積極的に参加する。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			HPを更新していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメント聞き取り時に意向の聞き取りもして作成している。	定期的にあセスメントを実地する。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援会議を行っている。	職員全員の意見を聞き取り反映させてく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		モニタリング会議は定期的の実地、PDCAサイクルで行い計画も職員間で共有している。	利用時には計画書を確認する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		送迎時に家族から聞き取りを行っている。	子どもの状況確認を常に行う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインに沿って支援内容を設定している。	ガイドラインの活用を継続し、細やかな具体的な内容で設定する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		個人で立案しその日その場で実地している場合が多い。チームを編成し運営できるようにする。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	季節行事や地域の情報を収集している。	情報収集しバリエーションを増やす。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		短期入所の部屋やしきりを使用して支援している。	個別での対応が多くなると集団での活動に人員が不足する。他部署より応援を依頼する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			朝のミーティングで確認していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		終礼を検討する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			ケース記録を徹底する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		ミーティングで個別で発達状態を確認している。	定期的に個別支援会議を行い判断していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		ガイドラインに沿った計画書を作成している。	職員全体でガイドラインを周知する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		適宜声かけ選択できるようにしている。	選択の幅を広げる
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			児発管・管理者中心に参加しているが臨機応変に対応する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		家族を通している。	モニタリング会議や担当者会議を通して行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		引き継ぎ時に行っている。	モニタリング会議や担当者会議にて直接的な情報共有は可能か確認する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	情報提供書を通している。	必要に応じて対応する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		必要に応じて対応する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		担当者会議にて助言を頂く。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1		今後機会を設ける予定。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		情報収集を行い参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に行っている。	積極的に行っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		今後検討する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			契約時や更新時に行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		アセスメント時の聞き取りで意向を聞いている。	意思が伝わる子には希望を聞いていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			ゆっくり説明する時間を設けていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			定期的に聞き取りを行う。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	1回／年の交流会を実地している。	定期的に交流会を企画する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ラインでやり取りをしている。	迅速に対応できるようにする。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		1回／月通信を発行している。	行事予定をお知らせする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			職員全体で周知する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		子供とのコミュニケーションは普段接する中で気が付いた点を職員間で共有する。	より良いコミュニケーション方法を検討していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	情報収集を行っている。	今後検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			定期的にマニュアルを確認する機会をもつ。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			定期的に訓練を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		基本情報で確認している。	職員全員で周知するようにする。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	紙で大きく表示している。	指示がでている利用者が参加時には朝のミーティングで確認する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			今後定期的に研修や訓練を行い安全管理の認識を強化する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			情報を周知していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		朝のミーティングで確認していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修を受けている。	研修を継続して受講できるようにする。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	個別で確認書を頂いている。	今後記載していく。